

主よ、深き淵からあなたを呼び求めます。…

主よ、私の声を聞いてください。私の願いの声に耳を傾けてください。 …

私は主に望みをおき、主のみことばを待つ。 (詩篇 130 の 1～6 より)

From the depths of my despair I call to you, Lord.

Hear my cry, O Lord; /listen to my call for help!

I wait for the Lord, my soul waits, And in His word I do hope.

私たちは、しばしば深い淵に陥る。病気、事故、災害、そして、老齢ゆえのさまざまな苦しみや孤独、あるいは家族の病気などの難しい問題、そしてしばしば気付かないが自分の罪ゆえに。

そして、健康なときには思いもよらなかった苦しみや悲しみ、魂にかかってくる重荷に耐えかねることもしばしばである。そしてそのようなときの重荷は、人それぞれに異なり、他者はたいていの場合本当には共感できないために、その重荷、悲しみはわかってもらえない。

そのようなとき何が私たちをその深き淵から救いだしてくれるのか。それはどのような時代や状況にもかかわらず永遠の課題である。

聖書には、そうした人間の根本問題については、そこから引き上げられ、解放される道が指し示されている。

いまから数千年前に生きた一人の人間が、それを詩のかたちにして残したが、それは現代の複雑な時代に生きる私たちにとってもそのままあてはまる。

それは、唯一の愛の神、宇宙のすべてを無限の英知と計画をもって創造し、かついまも支えている神を信じて、その神に向って叫ぶこと、祈ることである。

それはどんな人にも開かれているゆえに、過去数千年にわたって無数の人たちがこの詩の作者の経験を追体験することができてきた。

「私を仰ぎ望め、そうすれば救われる！」（イザヤ書 45 の 22）

私たちはただ、神を仰ぎ望み、私たちの心を集中して神に訴える一、そして、そこから語りかけられる神の言葉とその力を待ち望む。

それによって とき至れば、主は、それぞれが置かれている深き淵から逃れる道を備えてくださる。

もちろん、私たちの思うようには、解決の道が与えられないときもあり、すぐには答えや力が与えられないことも多くある。

しかし、人間の最も深い苦難や悲しみの深き淵にあって、ほかのどんな方法がそこから脱することにつながるだろうか。

その深き淵から出ることができないままに、絶望してみずからの命を断つ人、断とうとする人たちは毎年何万人とおられる。

死こそは、私たちすべてが向っていく深い淵である。その死とは何であるのか、についても哲学や思想、さまざまな知識等々は明らかにできない。ただ、宇宙すべてを創造された神のみがその死の本質を知り、かつその死の力にうち勝つ力ー復活の力を持っておられる。

私たちは、どのような深い淵であってもそこから救い出して命を与えてくださる神を信じ、キリストによる罪の赦しを与えられて歩む道が与えられている。

野草と樹木たち ソバナ 伊吹山（標高 1,377 m）滋賀県と岐阜県の県境付近にある） 2016.7.30 撮影



伊吹山、この山は、それほど標高は高くないにもかかわらず、山頂近くの一帯には、数多くの高山植物が生育していて、車でも手軽に登れることもあって、シーズンには多くの人たちが訪れます。山頂下の駐車場から、1時間ほどで頂上まで登れるし、駐車場付近でもすでにいろいろな植物がみられます。

伊吹山は、遠くの新幹線や高速道路からもそのどっしりした山容が目立つのですが、その無言にそびえる山に登ると、頂上近くにはこのようなさまざまの平地にはみられない植物たちが、語りかけてきます。

この花の名前のソバナとは 崖など切り立っている 峙ったところにみられるからという説明もありますが、たしかにこの写真の場所も人が登れないような崖にさいていたものです。

キキョウ科の青紫の美しい花が、崖の多数のほかの植物たちのなかから、茎をのばしてさいている様子は、とくに心惹かれるものがあります。

多くの野草が緑ゆたかに生育していても、こうした美しい形、色、姿をもっているものはわずかです。

人間の世界でも、とくに神に引き上げられて聖霊の賜物を受けて、それを多くの人たちに分かたつべく、選ばれる人もあり、神の御計画は、こうした野生植物にも感じられます。こうした色彩やすがたを通して、私たち人間に 天の世界からのメッセージを伝えようとしておられるのを思います。（文、写真とも T.YOSHIMURA）